

SG200、SG300 および SG500 シリーズ スイッチの時間設定のマニュアル設定

目標

システムの時刻は SNTP ユニキャスト マルチキャスト/エニーキャスト サーバからのユーザによって、動的に手動で設定されるか、または GUI を実行する PC から同期することができます。同期化されたシステム クロックはネットワークですべてのデバイスに関係枠を提供します。ネットワーク タイム時間同期化はであり、管理に重要、デバッグ ネットワーク保護します。同期された時間はまたバージョン違いおよび変更時刻の混合を除去するので共有 ファイル システムの重要なロールを担います。スイッチはブートプロセスの一部として時間、時間帯および GUI を常に設定します。

この資料の目標は手動で SG200、SG300 および SG500 シリーズによって管理されるスイッチのシステムの時刻を設定し、リセットすることによってガイドすることです。

適当なデバイス

- SG200
- SG300
- SG500

[Software Version]

- 1.3.0.59

システムの時刻の設定

ステップ 1. Web コンフィギュレーションユーティリティへのログイン。デフォルトのユーザ名は「cisco」であり、デフォルトパスワードは「cisco」です。

ステップ 2. Administration > 時間設定 > システムの時刻へのナビゲート。システムの時刻ページは開きます:

ページの上で次のフィールドは表示する:

- 実時間 (スタティック) –規定された場合デバイスおよび時間帯の実時間を表示する。
- 最後の同期されたサーバー-サーバのアドレス、層および型を含む Simple Network Time Protocol (SNTP) サーバからの情報を表示する。デバイスがこの SNTP サーバに「非同時性フィールド ディスプレイを「接続しなければ。

ステップ 3 手動設定で日付フィールドで現在の日付に入ってください。

注: 日付フィールドの上の文で"here"をクリックする自動的にコンピュータで保存される時間設定を得ます。クリックされた場合、ステップ 5.にスキップして下さい。

Manual Settings

Set the date and time manually, or click [here](#) to import them from your computer.

Date:	<input type="text" value="2013-Mar-14"/>	YYYY-MM-DD
Local Time:	<input type="text" value="17:25:47"/>	HH:MM:SS

ステップ 4.現地時間 フィールドで現在の時刻に入ってください。

Manual Settings

Set the date and time manually, or click [here](#) to import them from your computer.

Date: 2013-Mar-14 YYYYY-MMM-DD

Local Time: 17:25:47 HH:MM:SS

DHCPサーバからのダイナミック 時間帯 設定を有効にしたいと思う場合 **時間帯設定**の下のステップ 5. (オプションの) は **DHCP からの得時間帯**の隣で **Enable チェックボックス**をチェックします。

注: この機能を有効に することはステップ 3 および 4.で入力された手動設定をリセットします。この機能を有効にした場合、ステップ 8 にスキップして下さい

Time Zone Settings

Get Time Zone from DHCP: Enable

Time Zone from DHCP: N/A

ステップ 6.廃棄望まれるから **タイム ゾーン オフセット**をメニュー選択して下さい。

ステップ 7. **時間帯頭字語**フィールドの隣で **時間帯頭字語**を入力して下さい。

Time Zone Offset: UTC

Time Zone Acronym: PST (3/4 Characters Used)

ステップ 8 **設定が区分したり夏時間調整**で、**夏時間のための現在の時刻の自動 調節**を有効にするために **Enable チェックボックス**を選択して下さい。

Daylight Savings Settings

Daylight Savings: Enable

⌘ Time Set Offset: 60 min (Range: 1 - 1440, Default: 60)

ステップ 9： *時間一定オフセット* フィールドでは、相殺される 1 - 1440 からの GMT レンジングから分数を入力して下さい。デフォルト値は 60 です。

ステップ 10： *夏時間調整 Type* フィールドで、設定したいと思う夏時間調整タイプを選択して下さい。

設定は次の通り定義されます：

- USA – USA に夏時間ガイドラインを設定 します。 選択された場合、ステップ 13 に進んで下さい。
- ヨーロッパ– European Union 規格 (この規格を同様に使用する) 他のに夏時間ガイドラインを国のための有効な 設定 します。 選択された場合、ステップ 13 に進んで下さい。
- 日付までに– USA か EU 以外国のために夏時間ガイドラインを–一般的に 手動で 設定 します (上記リストに記載されている)。 これは DST の開始するおよび停止のカスタマイゼーションを毎年可能にします。
- 繰り返し– DST は同じ日付に毎年発生します。

「日付までに」型が選択された場合ステップ 11. (オプションの) は、夏が起こる時間と日付に入ります。

- から-DST が開始する日および時間。
- その DST が終了する時間および今日。

ステップ 12: 「繰り返し」型が選択された場合 (オプションの)、フィールドからおよびに強調表示されるで適切な情報を入力して下さい。

- から-DST (夏時間) が毎年始める日付を選択します。
 - 日- DST が毎年始まる曜日。
 - 週- DST が毎年始まる月内の週。
 - 月- DST が毎年始まる年の月。
 - DST が毎年始まるタイム時間。
- DST が毎年終了する時現在まで。
 - 日- DST が毎年終了する曜日。
 - 週- DST が毎年終了する月内の週。
 - 月- DST が毎年終了する年の月。
 - DST が毎年終了するタイム時間。

ステップ 13: [Apply] をクリックします。システムの時刻値は実行コンフィギュレーションファイルに書かれています。